

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年5月12日

東

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 数見 康浩 (TEL) 03-5297-5151 (代表)
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	19,747	6.4	553	8.5	570	△8.8	597	△3.2
2022年3月期	18,567	31.2	510	—	625	—	617	—

(注) 包括利益 2023年3月期 666百万円(1.8%) 2022年3月期 655百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	108.32	—	16.1	3.1	2.8
2022年3月期	111.91	—	18.1	3.5	2.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	19,136	3,994	20.9	724.39
2022年3月期	18,196	3,404	18.7	617.46

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,994百万円 2022年3月期 3,404百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,063	△1,494	10	1,254
2022年3月期	1,730	△316	△1,333	1,640

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	77	12.5	2.3
2023年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00	115	19.4	3.1
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00		24.3	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,266	7.7	672	21.4	681	19.5	636	6.6	115.44

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	5,516,335株	2022年3月期	5,516,335株
2023年3月期	2,678株	2022年3月期	2,678株
2023年3月期	5,513,657株	2022年3月期	5,513,673株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,618	7.1	620	18.7	637	0.1	666	5.5
2022年3月期	17,379	33.6	522	—	637	—	631	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	120.83		—					
2022年3月期	114.55		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	19,826		4,272		21.5	774.88		
2022年3月期	18,948		3,680		19.4	667.51		

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,272百万円 2022年3月期 3,680百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

2023年5月下旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で行動制限が徐々に緩和され、個人消費は持ち直し、経済活動の正常化の動きが見られました。一方で、円安の進行やウクライナ情勢の長期化による世界的な資源・原材料価格の高騰などを背景とした急激な物価上昇により、国内景気の下振れリスクが存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お客様、従業員の安心・安全を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、店舗・教室、式場の運営に臨んでまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、3年ぶりに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限もなく、催事等も計画通りに開催することができ、受注も堅調に推移いたしました。11月には、“きものが持つ多様性”をテーマに第2回目となるきものコンテスト「Universal Kimono Award 2022」を開催するなど、きものが本来持っている価値や新たな魅力、可能性を発信してまいりました。この結果、当連結会計年度の和装事業の売上高は14,819,262千円(前期比3.2%増)、セグメント利益は受注獲得に向けた催事関連費用、教室生徒獲得に向けた募集費用などを積極的に投下したこともあり847,176千円(前期比19.7%減)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は、5,064,696千円(前連結会計年度末比4.5%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、国内では3年ぶりの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限のない状況の中、来館客数も回復し、結婚式の受注、施行ともに好調に推移いたしました。一方、中国上海の子会社では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2022年3月28日から約2ヵ月間にわたり上海市政府によるロックダウンが行われた影響で、2022年4月から6月にかけては結婚式の受注、施行が行えない状況となりました。国内式場の施行回復により、当連結会計年度のウエディング事業の売上高は4,928,086千円(前期比17.0%増)、セグメント利益は427,251千円(前期比186.4%増)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残組数は、国内での施行が好調に推移したことにより、1,194組(前連結会計年度末比11.2%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当連結会計年度の業績は、売上高19,747,349千円(前期比6.4%増)、営業利益553,597千円(前期比8.5%増)、経常利益570,173千円(前期比8.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益597,264千円(前期比3.2%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は19,136,278千円(前連結会計年度末比5.2%増)となりました。

流動資産の残高は9,905,330千円(前連結会計年度末比0.8%減)となりました。これは主に売掛金が55,152千円、商品が59,920千円増加した一方で、現金及び預金が185,367千円減少したことによりです。

固定資産の残高は9,230,947千円(前連結会計年度末比12.4%増)となりました。これは主に建物及び構築物(純額)が675,307千円、投資有価証券が202,983千円増加したことによりです。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は15,142,247千円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。

流動負債の残高は12,581,751千円(前連結会計年度末比1.2%減)となりました。これは主に前受金が261,907千円増加した一方で、短期借入金が310,000千円、その他が150,335千円減少したことによりです。

固定負債の残高は2,560,495千円(前連結会計年度末比24.2%増)となりました。これは主に長期借入金が422,725千円、退職給付に係る負債が47,709千円増加したことによりです。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は3,994,030千円(前連結会計年度末比17.3%増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益597,264千円を計上したこと、配当金77,191千円を支払ったこと、為替換算調整勘定が66,497千円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,254,472千円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1,063,310千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益554,005千円、減価償却費519,685千円、レンタル商品の償却588,451千円、前受金の増加253,065千円があった一方で、棚卸資産の増加886,591千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,494,049千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出244,850千円、固定資産の取得による支出1,136,636千円、投資有価証券の取得による支出200,000千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は10,642千円となりました。これは主に長期借入れによる収入944,000千円があった一方で、短期借入金の減少額310,000千円、長期借入金の返済による支出524,726千円、配当金の支払額77,191千円があったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策の一層の緩和による消費者マインドの回復、また、賃金上昇の動きにより経済活動が力強さを取り戻すことが期待されるものの、ウクライナをめぐる国際情勢の先行きやエネルギー・素材価格、為替の変動等による経済への影響、人手不足の深刻化など、先行きは依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況の下、当社におきましては、和装事業では、プライベートブランド商品の更なる強化、きもの着方教室「いち溜」の強化、加盟店の開拓強化等、ウエディング事業では、写真関連事業の強化、中国ウエディング事業の推進等、各種施策を着実に推進してまいります。

通期の業績予想といたしましては、売上高21,266百万円、営業利益672百万円、経常利益681百万円、親会社株主に帰属する当期純利益636百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,676,553	4,491,185
売掛金	997,300	1,052,452
商品	1,929,705	1,989,625
レンタル商品	1,321,078	1,272,285
仕掛品	530,760	575,972
原材料及び貯蔵品	93,382	115,433
その他	438,294	408,375
流動資産合計	9,987,075	9,905,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,738,966	5,414,274
土地	1,320,750	1,320,750
建設仮勘定	383,793	385,285
その他(純額)	220,990	228,509
有形固定資産合計	6,664,501	7,348,820
無形固定資産		
ソフトウェア	36,394	92,217
その他	52,966	78,391
無形固定資産合計	89,361	170,609
投資その他の資産		
投資有価証券	58,566	261,549
出資金	10	30
敷金及び保証金	1,278,143	1,248,345
繰延税金資産	92,887	180,188
その他	25,808	21,404
投資その他の資産合計	1,455,415	1,711,517
固定資産合計	8,209,277	9,230,947
資産合計	18,196,352	19,136,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	845,449	874,548
短期借入金	4,190,000	3,880,000
1年内返済予定の長期借入金	451,764	448,313
未払金	474,759	459,561
未払費用	316,469	343,828
未払法人税等	41,075	44,103
前受金	6,020,325	6,282,233
預り金	44,659	53,159
賞与引当金	1,650	1,425
その他	344,914	194,579
流動負債合計	12,731,068	12,581,751
固定負債		
長期借入金	768,929	1,191,654
資産除去債務	345,978	355,974
繰延税金負債	1,015	955
退職給付に係る負債	588,731	636,440
役員退職慰労引当金	15,607	—
その他	340,545	375,471
固定負債合計	2,060,807	2,560,495
負債合計	14,791,875	15,142,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,978,533	1,978,533
利益剰余金	1,370,505	1,890,578
自己株式	△17	△17
株主資本合計	3,399,020	3,919,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,506	36,489
為替換算調整勘定	△28,049	38,447
その他の包括利益累計額合計	5,456	74,936
純資産合計	3,404,476	3,994,030
負債純資産合計	18,196,352	19,136,278

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	18,567,414	19,747,349
売上原価	7,153,253	7,625,092
売上総利益	11,414,160	12,122,256
販売費及び一般管理費	10,904,100	11,568,659
営業利益	510,060	553,597
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,553	6,425
受取手数料	5,152	3,722
為替差益	72,036	3,315
助成金収入	58,486	4,708
残余財産分配金	—	5,923
その他	13,644	20,060
営業外収益合計	161,873	44,155
営業外費用		
支払利息	21,683	22,554
和解金	17,500	—
その他	7,535	5,025
営業外費用合計	46,718	27,579
経常利益	625,215	570,173
特別利益		
固定資産売却益	—	54
特別利益合計	—	54
特別損失		
固定資産除却損	3,620	5,569
減損損失	107,741	10,652
特別損失合計	111,362	16,222
税金等調整前当期純利益	513,853	554,005
法人税、住民税及び事業税	41,161	44,103
法人税等調整額	△144,355	△87,361
法人税等合計	△103,194	△43,258
当期純利益	617,047	597,264
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	617,047	597,264

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	617,047	597,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,589	2,983
為替換算調整勘定	40,663	66,497
その他の包括利益合計	38,074	69,480
包括利益	655,122	666,744
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	655,122	666,744
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,019,617	1,008,916	1,426,693	—	3,455,226
会計方針の変更による累積的影響額			△634,640		△634,640
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,019,617	1,008,916	792,053	—	2,820,586
当期変動額					
減資	△969,617	969,617			—
剰余金の配当			△38,595		△38,595
親会社株主に帰属する当期純利益			617,047		617,047
自己株式の取得				△17	△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△969,617	969,617	578,451	△17	578,434
当期末残高	50,000	1,978,533	1,370,505	△17	3,399,020

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	36,095	△68,713	△32,618	3,422,608
会計方針の変更による累積的影響額				△634,640
会計方針の変更を反映した当期首残高	36,095	△68,713	△32,618	2,787,968
当期変動額				
減資				—
剰余金の配当				△38,595
親会社株主に帰属する当期純利益				617,047
自己株式の取得				△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,589	40,663	38,074	38,074
当期変動額合計	△2,589	40,663	38,074	616,508
当期末残高	33,506	△28,049	5,456	3,404,476

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,978,533	1,370,505	△17	3,399,020
当期変動額					
剰余金の配当			△77,191		△77,191
親会社株主に帰属する当期純利益			597,264		597,264
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	520,073	—	520,073
当期末残高	50,000	1,978,533	1,890,578	△17	3,919,093

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	33,506	△28,049	5,456	3,404,476
当期変動額				
剰余金の配当				△77,191
親会社株主に帰属する当期純利益				597,264
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,983	66,497	69,480	69,480
当期変動額合計	2,983	66,497	69,480	589,553
当期末残高	36,489	38,447	74,936	3,994,030

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	513,853	554,005
減価償却費	504,587	519,685
減損損失	107,741	10,652
レンタル商品の償却	428,763	588,451
のれん償却額	6,194	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	40,240	47,709
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	867	△15,607
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△390	△225
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△30,311	—
受取利息及び受取配当金	△12,553	△6,425
助成金収入	△58,486	△4,708
支払利息	21,683	22,554
為替差損益 (△は益)	△72,036	△3,315
商品評価損	209,894	210,286
商品減耗損	2,725	2,211
商品廃棄損	12,141	7,317
固定資産除却損	3,620	5,569
和解金	17,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,803	△55,152
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△711,874	△886,591
仕入債務の増減額 (△は減少)	79,899	26,969
未払消費税等の増減額 (△は減少)	288,104	△133,629
前受金の増減額 (△は減少)	381,657	253,065
その他	△39,703	△26,287
小計	1,629,314	1,116,538
利息及び配当金の受取額	13,562	5,521
助成金の受取額	73,953	4,708
利息の支払額	△21,472	△22,893
和解金の支払額	△17,500	—
法人税等の支払額	—	△40,564
法人税等の還付額	52,771	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,730,629	1,063,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△315,173	△244,850
定期預金の払戻による収入	114,708	44,400
固定資産の取得による支出	△254,347	△1,136,636
貸付金の回収による収入	3,987	3,987
有価証券の償還による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△200,000
その他	△65,995	39,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,821	△1,494,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△1,010,000	△310,000
長期借入れによる収入	200,000	944,000
長期借入金の返済による支出	△468,984	△524,726
リース債務の返済による支出	△15,911	△21,439
自己株式の取得による支出	△17	—
配当金の支払額	△38,595	△77,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,333,509	10,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,645	34,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106,944	△385,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,533,346	1,640,291
現金及び現金同等物の期末残高	1,640,291	1,254,472

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

2社

連結子会社の名称

株式会社京都きもの学院

璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司（英訳名：CANZHEN（SHANGHAI）WEDDING SERVICES CO.,LTD.）

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司（英訳名：CANZHEN（SHANGHAI）WEDDING SERVICES CO.,LTD.）の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、運営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業別のセグメントから構成されており、提供する商品、サービス等を考慮した上で集約し、「和装事業」「ウエディング事業」の2つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、呉服等の販売、振袖等の販売・レンタル、成人式の前撮り写真撮影サービス、成人式当日の着付け及びメイクサービス、きものの着方教室の運営等を行っております。

「ウエディング事業」は、結婚式場「キャメロットヒルズ」(埼玉県さいたま市北区)、「グラストニア」(愛知県名古屋市中区)、「百花籠」(愛知県名古屋市中区)、「ネオス・ミラベル」(山梨県笛吹市)、「嘉美麗徳高端婚礼会館大寧店(英訳名:Camelot-Hills Shanghai)」(上海市静安区)、「嘉美麗徳高端婚礼会館虹橋店(英訳名:Camelot-Hills Shanghai Hongqiao)」(上海市閔行区)等の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	和装事業	ウエディング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,356,695	4,210,718	18,567,414	—	18,567,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,356,695	4,210,718	18,567,414	—	18,567,414
セグメント利益	1,055,645	149,173	1,204,818	△694,758	510,060
セグメント資産	6,499,088	6,850,675	13,349,764	4,846,588	18,196,352
その他の項目					
減価償却費	114,039	365,133	479,172	25,415	504,587
レンタル商品の償却	401,592	27,171	428,763	—	428,763
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	139,893	160,539	300,433	55,051	355,485

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。

(3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。

(4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,819,262	4,928,086	19,747,349	—	19,747,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,819,262	4,928,086	19,747,349	—	19,747,349
セグメント利益	847,176	427,251	1,274,428	△720,830	553,597
セグメント資産	6,750,134	6,876,206	13,626,340	5,509,937	19,136,278
その他の項目					
減価償却費	121,871	375,770	497,641	22,043	519,685
レンタル商品の償却	564,608	23,843	588,451	—	588,451
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	265,816	924,017	1,189,833	53,227	1,243,061

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。
 - (3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。
 - (4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。
2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	7,759,299	1,849,389	4,210,718	1,385,611	2,768,970	593,424	18,567,414

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。

2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	合計
5,899,887	764,613	6,664,501

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	8,011,033	1,863,390	4,928,086	1,449,617	2,898,027	597,193	19,747,349

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。

2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	合計
5,811,199	1,537,621	7,348,820

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	その他(注)	連結財務諸表計上額
減損損失	12,344	—	95,397	107,741

(注)「その他」の金額は、本社管理部門に係るものであります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	その他(注)	連結財務諸表計上額
減損損失	10,652	—	—	10,652

(注)「その他」の金額は、本社管理部門に係るものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	連結財務諸表計上額
当期償却額	6,194	—	6,194
当期末残高	—	—	—

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	617.46円	724.39円
1株当たり当期純利益	111.91円	108.32円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,404,476	3,994,030
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,404,476	3,994,030
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,513,657	5,513,657

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	617,047	597,264
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	617,047	597,264
普通株式の期中平均株式数(株)	5,513,673	5,513,657

(重要な後発事象)

該当事項はありません。